



年 組 名前

道新でワークシート

「フルグラ」中国サイトで販売

カルビー 千歳で製造 「北海道」明記

菓子製造大手のカルビー（東京）は25日、スナック菓子に次ぐ第2の柱と期待するシリアル食品「フルグラ」を、中国の電子商取引（EC）最大手アリババグループの越境ECサイト「天猫国際」で8月から販売すると発表した。同月稼働の北海道工場（千歳市）の新ラインで作る「北海道製造」と明記して中国の消費者に売り込む。同社は販売動向を見ながら、北海道工場の生産力を3倍程度にまで増やしたい考えだ。



越境ECはインターネットを通じ海外商品を購入するサイトで、近年中国で利用が急増。中国の越境ECでの日本の商品の市場規模は1兆円を突破したとされる。フルグラはオーツ麦やライ麦などを主原料に、シロップや植物油を混ぜて焼き固めた商品。1991年に発売したが、健康志向の高まりで近年需要が増え、2017年3月期の売り上げは292億円と5年で約10倍に伸びた。

現在では宇都宮市の清原工場（年間生産能力340億

円）のみで生産。カルビーは中国に直接輸出していないものの、日本の卸業者らを経由した中国での売り上げが全体の2割程度を占めるまでになったことから、本格輸出を決めた。これに伴い、北海道に年間生産能力40億円の新しいラインを造り、京都でも150億円規模のラインが来年夏に稼働予定だ。

中国での販売は、現地スーパーなどで売る通常の輸出より関税などのコストが低い越境ECを軸にする考え。数年で200億〜300億円規模となることを見込んでおり、25日に東京都内で記者会見した松本晃会長は「（北海道工場は）さらに70億〜80億円分の増強が可能だ」と述べ、追加の設備投資を行う構想を明らかにした。

2017年5月26日朝刊経済面

①なぜ「フルグラ」が中国で販売されることになったのか書きなさい。

②「北海道製造」と明記するのはなぜですか。